

Andreas Templin solo-exhibition as if to nothing, Charles Darwin crying, and other works

アンドレアス・テンプリン 個展 "まるで、何もないかのように" "泣いているチャールズ・ダーウィン" 他の作品

【企画概要】

eco japan cup 2008 カルチャー部門 エコアート 準グランプリ作家、アンドレアス・テンプリン/Andreas Templin (ドイツ・ベルリン在住)による日本初個展を開催します。コンセプチュアル・アートの流れにありながら、決して難解ではなく、ユーモラスな批評精神に満ちたアンドレアスの作品をお楽しみください。

キュレーション 榎山寛

企画・コーディネート 深瀬鋭一郎

主催 gallery COEXIST 深瀬記念視覚芸術保存基金

協力 eco japan cup

【会場】

galleryCOEXIST -ギャラリーコエグジスト-

〒110-0016 東京都台東区台東 1-23-12

各線秋葉原駅より徒歩 10 分

大江戸線新御徒町駅より徒歩 10 分

Tel.03-6803-2035 <http://www.coexist-art.com>

【個展開催期間】

2010年1月16日(土)～1月31日(日)

11:00～19:00(最終日は17:00まで)

・レセプションパーティ&トークセッション

2010年1月16日(土)19:00～21:00

レセプションパーティに先立って、19:00より作家本人、本展の企画者である深瀬鋭一郎、キュレーターの榊山寛による、テンプリン作品をめぐるトークを行います。



”as if to nothing” (2008)

アンドレアス・テンプリンが、日本で紹介されるようになったのは、2008年の”eco japan cup カルチャー部門 エコアート”で、準グランプリに輝いたのがきっかけだ。受賞作は、地球の温度から始まり、生物種の絶滅や土地の砂漠化状況、ヒトの生誕や死亡、自殺者やHIV、罹患者の数といったデータが、刻々と変化する数値として表される映像作品だ。静止画で見れば、講演のプレゼン・スライドのような素っ気ないものだが、そこに重厚な交響曲と、”まるで、何もないかのように(As if to nothing)”というスパイスが効いたタイトルを付加することで、観る者の感情を、静かだが確実に動かす表現へと変貌させている。

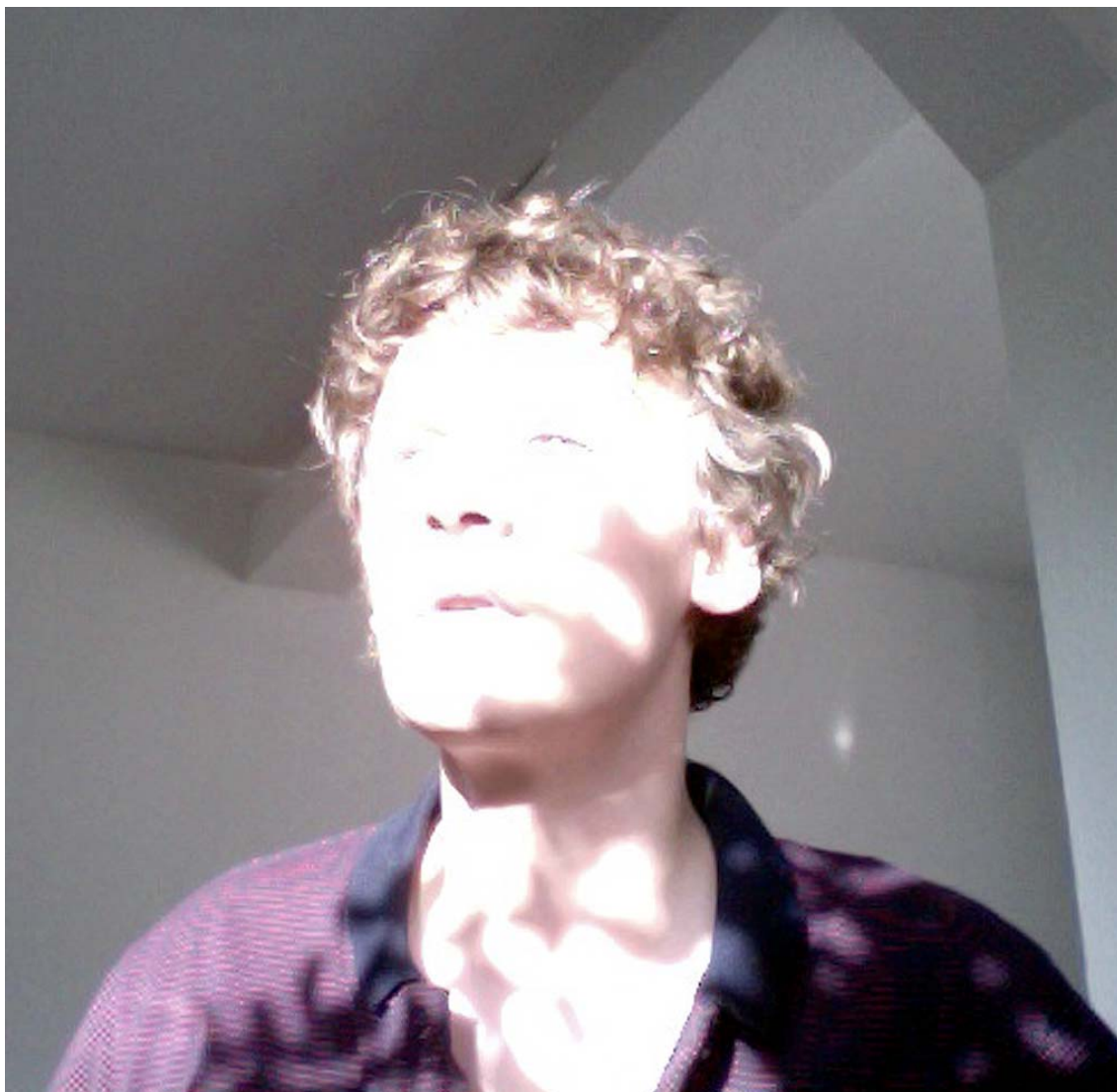
この受賞作からすると、シリアスな科学者タイプを想像するだろう。しかし、私がベルリンで初めて会ったテンプリンは、人を笑わせたり、あっと言わせるのが心から好きといった、茶目っ気たっぷりのコスモポリタンだった。作品も、バッハの曲を口笛で吹いた脱力系のアナログ・レコード、既存の油絵の絵部分ではなく”キャンバス表面のテクスチャ”を見せようとする写真など、コンセプチュアル・アートの流れにありながらも、決して難解ではなく、ユーモラスな批評精神に満ちたものだ。ユニセフの依頼で、世界各地で子供向けのワークショップをしてきたというのも、うなずける話だ。日

本では初めての個展、いったい何を見せてくれるだろう。

梶山 寛(本展キュレーター/コンテンツ・プロデューサー)

梶山 寛 Hiroshi MASUYAMA コンテンツ・プロデューサー 1958年東京生まれ。慶大卒。主な仕事に、“マネースマート”(小説・角川書店)、“マネースマート”(ゲーム・シンフォレスト)、“M.I.Q.”(マンガ原作・講談社)、“信用ゲーム”(アート展・ICC)などがある。

【アンドレアス・テンプリン(Andreas Templin)略歴】



1975年 ドイツ生まれ、ベルリンとアムステルダムに居住:

学歴

1997-99年 ゲリット・リートフェルト・アカデミー

自由学群ヴィジュアル・アート専攻(アムステルダム)

2006-08年 サンドバーグ・インスティテュート
ヴィジュアル・アート修士(アムステルダム)

受賞

2007年 EGOART-prize 2006(ブラティスラバ/スロバキア)

Winner, Madrid Abierto 2008(マドリッド)

2008年 World One Minutes 優秀賞, Today Art Museum(北京)

eco japan cup 2008 準グランプリ(東京)

2009年 CAS ZUIDAS アーバン・スクリーン・フェスティバル・アワード(アムステルダム)

主な展覧会(2008年以降を抜粋)

2008年 Madrid Abierto 2008(マドリッド)

Oneminute-Bookreviews OBA 図書館(マドリッド)

Kunst Vlaai A.P.I.(アムステルダム)

33t & 45t by Visual Artists(アムステルダム)

World One Minutes Today Art Museum(北京)

国際フォーラム・アート・テック・メディア(コルドバ)

366 Intrude, Zendai MOMA(上海)

Videomedeja, Novi Sad(セルビア)

eco japan cup 2008 受賞者展 東京ビッグサイト(東京)

2009年 "Portofolio" エグバート・バク・コンテンポラリー・アート(ベルリン)

"700IS Reindeerland"(アイスランド)

ユーロピアン・メディア・アート・フェスティバル(オスナブリュック/ドイツ)

WRO09 国際メディア・アート・ビエンナーレ(ワルシャワ/ポーランド)

アート・アムステルダム Tjdelijk Museum(アムステルダム)

ベニス・ビエンナーレ アルセナーレ(oneminutes-foundation 協力、ベニス)

CAS ZUIDAS アーバン・スクリーン・フェスティバル(アムステルダム)

ビデオ・ダンボ・フェスティバル(ニューヨーク)

©深瀬記念視覚芸術保存基金(翻訳)

【展示品目】

[as if to nothing]



地球の全人口から、結婚、離婚、堕胎、森林の伐採、植林、原油、HIV 感染、死亡、疾病、疾患、焼死、溺死、交通事故 etc...の数字を世界とリンクさせて、タイムリーに数値を変化させていくミニマルな映像作品 (eco japan cup カルチャー部門 エコアート準グランプリ受賞)。

リンク <http://www.youtube.com/watch?v=1MBcolk1Alk>

ほか

【お問い合わせ】

galleryCOEXIST -ギャラリーコエグジスト- アンドレアス・テンプリン担当/畑まで

mail. gallery_coexist@yahoo.co.jp Tel.03-6803-2035